

# テーマ：海の世界

南長崎第二保育園(豊島区)

## テーマを設定する

遠足で水族館に行き、魚について関心を深める機会が多いため。すくわくプログラムでは光を使った遊びも行ったことがあるため、光を用いた活動方法も考えられると思ったため。

## 活動 ワークショップ

海の世界に関連する絵本や、園外活動で訪れた水族館で見た生き物の姿から、想像力を膨らませて、身体表現をしたり、オリジナルの海を描いて遊ぶ活動を実施。

## 環境をデザインする

準備物：ハترون紙、クレヨン、養生シート、スズランテープ、ビニール傘、クリアファイルほか

## 探究活動を実践する

### ●活動内容

- 1.絵本を導入として、ペンギンになって身体を動かす。
- 2.海の生き物の動きを身体で表現。
- 3.紙芝居を読み、イメージを膨らませて、自分たちのうみを描く。さまざまな海の生き物を描いたり、色をぬったりする。
- 4.作った海を鑑賞。頭上ではためかせたり、筒状にしてトンネルを潜って遊ぶ。
- 5.両面テープとスズランテープのついたベルトを装着。紙の海をやぶって、その破片をベルトに貼付け、海の生き物に変身する。
- 6.自由に動き回ったり、海の破片を紙吹雪のように浴びたりして遊ぶ。

### ●子どもたちの様子

- ・園外活動を機に、海の生き物の名前など知識を増やしている様子が見られ、身体表現、オリジナル海の世界づくりのいずれの活動においても、様々な魚の名前など、豊かな発想をする姿が見られた。
- ・身体表現、絵を描く活動の両方を行ったことで、それぞれが、好きなこと、得意なことを活かして、集中して遊ぶ様子が見られた。
- ・創作活動では、子どもたちから生まれたそれぞれのテーマに沿って、大胆に色を塗ったり緻密に描いたりする姿が見られた。

## 活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① イケバスでの園外活動	R7.12.12 (金)	4時間程度	18人
② ワークショップ 講師：たけうちみずゑ(俳優)他 2名	R7.12.15 (金)	60分程度	17人
③ プラバンにカラーフィルムを貼り 魚の形に切り抜き窓やライト テーブルに透かして遊ぶ。	R7.11.28 (金)	60分程度	17人



## 振り返りをふまえた気づき

### ●保育士から

- ・物語の世界観を存分に味わい楽しんだことで、その後の活動にも生き生きと参加することができていた。
- ・水族館への興味が活かされ、さまざまな海の生き物のアイデアが生まれ、身体表現も制作もダイナミックに楽しむことができた。
- ・一人ひとりが想像力を膨らませながら、それぞれのテーマやストーリーをもって活動に参加していた。
- ・音楽への感受性が高く、音に合わせて体を動かす様子から、日常保育のリズム遊びとのつながりを感じた。

# テーマ:光

南長崎第二保育園(豊島区)

## テーマを設定する

玩具などを使用し、遊びを通して光に興味を持つ姿があった。昨年度に引き続き、光をテーマに興味や遊び方を深めていきたい。昨年度の道具を使いきれない物もあるため、使い方や遊び方を知り、子どもの気づきや、光・影・音を使用した遊びを深めたい。

## 活動 アーティストワークショップ1~4

スクリーンに自分の影を映して、光源からの距離で影の大きさが変化することを体感したり、床に置いた物に光を当てて影を出し、光と物体と影の関係について探求した。また、透明シートに自分で描いた絵を窓に貼り、ホールに差込む自然光を通して鑑賞した。

## 環境をデザインする

- 黒シートで遮光して部屋を暗くした
- 準備した物 スクリーン ライト 懐中電灯 カラーシート 透明シート 他

## 探究活動を実践する

### ●活動内容(1日目)

- 1.外部講師の動きの真似から始めて、色々な生き物になりきって動いたり、音楽にあわせて自由に踊るなどして身体を動かした。
  - 2.大きなスクリーンに自分の影をうつして、光と身体と影の関係を探求した。
  - 3.事前に作ったカラフルな海の生き物を窓に貼り、自然光に透かして「水族館」に見立てて鑑賞した
  - 4.窓の向こうを海に見立てて、テラスに出て、身体で海の中を表現。
  - 5.室内で海に見立てた布を動かし、布の動きに連動して身体を動かした。
- ※2日目は室内に様々な物を置いて懐中電灯の光を当てて観察する活動も取り入れ、3日目はワークショップの後半に4歳児と保護者を招いてミニ発表を行った。4日目は同テーマに基づき別内容で造形ワークショップを実施。

### ●子どもたちの様子

- ・ライトとの距離が変わると影の大きさが変わることや、みんなで一列に並ぶと一人の影しか映らないこと自ら発見していた。
- ・自然光にカラフルな透明シートを透かして見ると景色が色づいて見えることを発見し、「わーきれい」と歓声をあげていた。
- ・テラスに出て海の中を表現する活動の中では息を口にためて頬をふくらませて泳いで見せたり、ラッコやカニなどの生きものになりきる様子がみられた。

## 活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:中村理(ダンサー・イラストレーター)他1名	R8.1.8 (木)	90分 程度	16人
② アーティストワークショップ2 講師:中村理(ダンサー・イラストレーター)他1名	R8.1.22 (木)	90分 程度	16人
③ アーティストワークショップ3 講師:中村理(ダンサー・イラストレーター)他2名	R8.1.28 (水)	90分 程度	18人
④ アーティストワークショップ4 講師:水内貴英(美術家)	R8.2.12 (木)	60分 程度	16人
⑤ 懐中電灯を使い、廊下や部屋を暗くして色々なところに光を当ててクリスマスの雰囲気を感じながら遊ぶ。	R7.12.25 (木)	40分 程度	3歳~ 5歳 38人



## 振り返りをふまえた気づき

### ●保育士から

外部講師が、プロのダンサーならではのしなやかな動きや細部まで使って踊る様子を、子どもたちは集中して味わっており、そのことで活動への意欲が高まっていた。また、影の活動のなかで、カラーシートに光を当てて色の違いを味わった後に、カラーシートを重ねて色の変化を試したり、光源に近づいたり離れたりとすることで自分の影の大きさが変わることや、光源に対して垂直に並べば影が1つしか出ないことを発見するなど、自分で探求することができていた。また友達の発見にさらに自分の発見を重ねる相乗効果も生まれていた。